

県内の水難事故発生・減少傾向いまだ見えず

本年 8 月末現在、沖縄県内の水難事故発生状況ですが、発生件数 85 件、罹災者 93 名、死者 31 名、行方不明者 1 名となっています。

昨年同期比で発生件数が 10 件増加し、罹災者及び死者は若干減少しています。

要因として、昨年は複数人が一度に事故に遭っていたことが要因と考えられ、依然として予断を許さない状況にあり、極めて憂慮すべき状況となっています。

県民及び観光客の罹災状況をみると、県民は魚釣り中の事故、護岸等で飲酒して海岸に転落する事故等が特徴となっており、観光客は自然海岸での単独遊泳中の事故、レジャー中の体調急変による事故が顕著となっております。

事故原因もライフジャケット未着用、事業者が絡む事故及び高齢者の事故が目立っています。

県民や観光客の皆さまは、マリンレジャーを行う際は

- 必ずライフジャケットを着用すること。
- 飲酒時のマリンレジャーはしない。
- 遊泳中の家族から目を離さない、また技量に応じたマリンレジャーを楽しむ。
- 自然海岸では単独での遊泳はしない。

等の自身で安全確保行動に務めていただき、安全で安心なマリンレジャーを楽しんでいただきますよう、ご理解とご協力をお願いいたします。

また、事業者には、お客様の体調チェックを確実にを行い、特に高齢者のお申し込みについては、きめ細やかなメディカルチェックを詳細に実施して判断を行い、水難事故防止に努めていただけますようご協力をお願いします。



マリンレジャー事業者のための「OMS B総合保険」募集中

OMS Bでは、マリンレジャー事業者のための「OMS B総合保険」の募集を行っています。マリンレジャー事業を継続・発展させていくためには、種々のリスクによる事故防止や発生する損害の軽減に努めるとともに、万が一の事故による経済的負担の備えが必要になります。賠償責任保険及び傷害保険とそれぞれの保証があります。

ぜひ、「OMS B総合保険」をご検討ください。詳しくはOMS Bホームページまたは、OMS B事務局までお問い合わせください。

ちゅら海の安全・安心つくるゆいまーるの輪OMS B賛助会員募集中

※ 詳しくは、右のQRコードからOMS Bホームページ上で確認できます。

